マルチ画面表示対応パソコン(KVM)切替器

RPM-400FHD

取扱説明書

Ver 2.2

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を受けることが想定される内容を示しています。

■図記号の説明

禁止

禁止（してはいけないこと）を意味しています。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

指示

指示する行為の強制（必ずしなければならないこと）を意味しています。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

禁止

警告や注意を意味しています。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

図記号の例

取り扱いの誤りにより過熱、発煙または発火の可能性があることを示しています。

取り扱いの誤りにより感電する恐れがあることを示しています。

機器に触れることによって、障害を引き起こす可能性があることを示しています。

取り扱いの誤りにより高温になり、障害を引き起こす可能性があることを示しています。

機器の分解を禁止することを示しています。

必ず電源プラグをコンセントから抜くことを指示するものです。

必ずアース線を接続するよう指示するものです。

■安全のためにかならず守ること

警告

電源は必ず製品仕様の範囲内でご使用ください。

電圧や低格が異なると、感電や火災の原因になります。

タコ足配線はしないでください。また、アース線は絶対にガス管につながないでください。

過熱・発火の原因になることがあります。

電源プラグは、濡れた手で抜き挿ししないでください。

感電やけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工・加熱したりしないでください。
また、電源コードに重いものを乗せないでください。

火災や感電の原因になります。

本システムの機器を、修理・分解・移設しないでください。

火災の原因になったり、感電したりする恐れがあります。

修理・調整は当社窓口にご相談ください。

異臭（こげ臭いなど）や異常な音がしたら、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災の原因になります。

ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

電源スイッチが入ったままの状態で、電源コードを抜き差ししないでください。

火災の原因になることがあります。

■機器の取り扱いについて

警告

本システムの機器を次の場所に設置しないでください。

- 極端に高温または低温になる場所
- 極端に湿度が高くなる場所
- 水などがかかる恐れのある場所
- 直射日光の当たる場所
- ほこりの多い場所
- 振動する場所、水平でない場所、不安定な場所

故障、事故の原因になります。

本システムの機器の上に腰掛けたり、設置上許される機材以外のものを置いたりしないでください。また、水などをこぼさないでください。

故障や感電、および火災の原因になったり、転倒して怪我をする恐れがあります。

注意

本システムの機器のコネクタには、規定のケーブル以外のものを使用しないでください。またコネクタに異物を挿入しないでください。

故障の原因になります。

本システムの機器をベンジン、シンナーなどの薬品で拭かないでください。

変形・変色することがあります。

本システム機器をご使用中にプログラムおよびデータなどが消失した場合でも、プログラムおよびデータなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えてバックアップをお取りください。

本システムの機器は、人命に関わる設備や機器、または高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用、および組込んでの使用を意図しておりません。
これらの設備や機器に本システム機器をご使用され、本システム機器の故障により、事故、火災、損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■設置作業について

注意

機器の設置を行うときは、必ず電源コードを抜いてください。

必ずアース処理を行ってください。

メンテナンス性を考慮し、ケーブル類は機器が十分引き出せる余裕を持って設置してください。

コード類の折り曲げによる断線に注意してください。

機器類は熱を発します。本体側部および、上部に十分な空間が確保できるように設置してください。

■免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書に記述されている内容以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

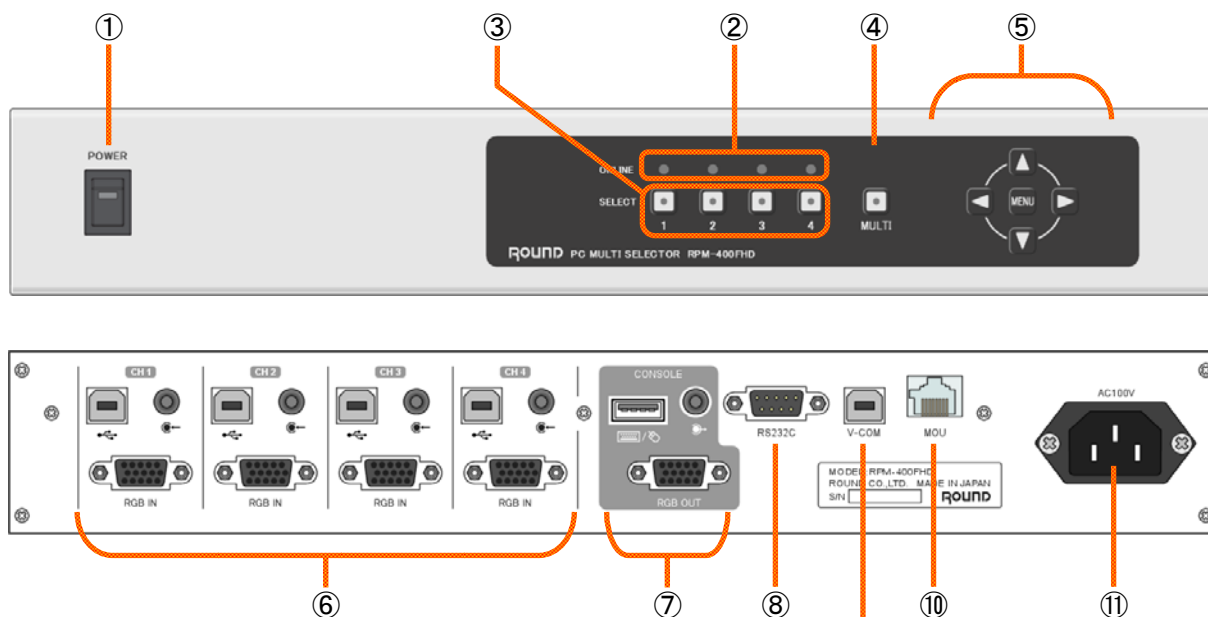
製品概要

- マルチ画面表示対応パソコン(KVM)切替器 RPM-400FHD は、最大 4 台のパーソナルコンピュータ（以下 PC）を、1 組の RGB ディスプレイ／USB マウス／USB キーボードで操作するための装置です。
- 各 PC の映像をマルチレイアウトで一覧表示することができます。マルチ表示中でもシングル表示と同じように、選択中チャンネルの PC を操作することができます。
- 映像／キーボード／マウスと同時に音声も切り替えることができます。
- チャンネル選択や表示レイアウト切り替えなどの操作を、キーボードからのホットキーコマンドで行うことができます。
- 画面にチャンネル番号をオーバーレイ表示することができます。
- PC にソフトウェアをインストールする必要がないハードウェア方式なので、PC の動作状態に関係なくご利用いただけます。
- メニュー操作によって、各種の設定や調整を行うことができます。
- 入力映像の解像度を自動的に識別します。
  ※対応解像度については 28 ページを参照してください。

商品構成

はじめに梱包品が揃っていることをご確認ください。

- ☐ RPM-400FHD 本体　1 台
- ☐ 電源ケーブル（AC100V：50/60Hz 専用）　1 本
- ☐ USB ハブ　1 台
- ☐ RGB 中継コネクタ（Dsub15pin：メス/メス）　1 個
- ☐ ホットキー操作早見カード　1 部
- ☐ 取扱説明書（本書）、保証書（本書裏表紙）　各 1 部

各部の名称と働き

名称	働き（用途）	関連ページ
① 電源スイッチ	RPM-400FHD の電源を ON または OFF にするときに使用します（電源が ON のときに緑色点灯します）。	☛ 10 ページ
② オンライン表示部	入力映像または USB 接続の状態を表示します。	☛ 10 ページ
③ チャンネル選択ボタン	表示／操作したいチャンネルを選択します＊1。マルチ表示中でも同様に選択できます。	☛ 10 ページ ☛ 12 ページ
④ マルチ表示ボタン	マルチ表示機能を ON または OFF にします。 マルチ表示には複数のレイアウトがあります。	☛ 11 ページ ☛ 14 ページ
⑤ メニュー操作用ボタン	OSD メニューを操作したり、出力解像度を選択するときに使います。	☛ 18 ページ ☛ 12 ページ
⑥ PC 側コネクタ類	各 PC の USB、アナログ RGB 出力、ライン出力を接続します＊2。	☛ 9 ページ
⑦ コンソール側コネクタ類	USB キーボード、USB マウス、アナログ RGB ディスプレイ、アンプ内蔵スピーカを接続します。	☛ 9 ページ
⑧ 外部通信端子＊3	（通常は使用しません）	☛ 9 ページ
⑨ V-COM 端子	（弊社メンテナンス用） 何も接続しないでください。	
⑩ 操作ユニット専用接続端子	別売のオプション製品（MOU-3）を接続します。 正規オプション製品以外を接続しないでください。	☛ 9 ページ
⑪ AC100V 入力	付属の電源ケーブルで AC100V に接続します。	☛ 9 ページ

＊1　チャンネル選択ボタンを 2 秒以上押し続けると、選択画面の表示位置を自動調整できます（☛ 12 ページ）。

＊2　RPM-400FHD は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合、BIOS 画面表示中は USB 接続が確立しません。

＊3　所定の通信コマンドによって、外部から RPM-400FHD を制御することができます。詳細については当社営業部までお問い合わせください。

機器の接続

 接続作業を行う前にすべての機器の電源を OFF にしてください。

① PC と RPM-400FHD（ CH 1 ～ CH 4 ）の接続

- PC の VGA コネクタと本体背面の「RGB IN」を RGB ケーブルで接続します。
- PC の USB コネクタと本体背面の USB コネクタ（ ）を市販の USB ケーブルで接続します。

RPM-400FHDはPCに対してUSB複合デバイスとして動作します。PCのBIOSがUSB複合デバイスに対応していない場合は、本製品に接続したUSBキーボードでBIOS画面を操作することはできません。

- PC のライン出力コネクタと本体背面のライン入力コネクタ（ ）を市販のステレオミニプラグケーブルで接続します。

音声をご使用になる場合は、別途ステレオミニプラグケーブル（φ3.5）をご用意ください。

② RPM-400FHD（ CONSOLE ）と周辺機器の接続

- 本体背面の「RGB OUT」にアナログ RGB ディスプレイを接続します。
- 本体背面の USB キーボード・マウス用コネクタ（ ）に USB ハブを接続し、USB ハブに USB キーボードと USB マウスを接続します。

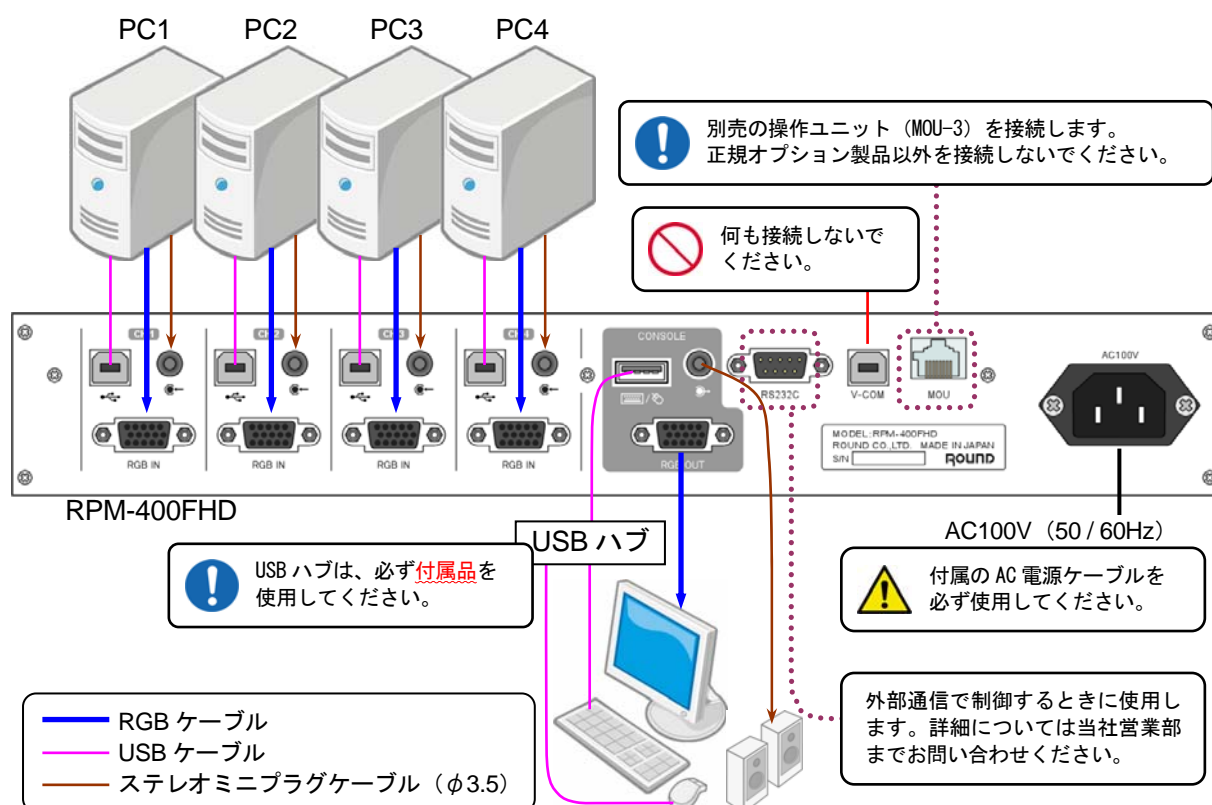
付属のUSBハブを使用して下さい。

USBキーボードまたはUSBマウスの一方だけを接続する場合は、USBハブを使用しないで直接RPM-400FHD本体に接続することもできます。

- 本体背面のライン出力コネクタ（ ）にスピーカを接続します。

音声をご使用になる場合は、アンプ内蔵スピーカを接続してください。

③ 付属の AC 電源ケーブルを RPM-400FHD 背面の「AC100V」に接続します。

図1　標準的な接続方法

RPM-400FHD を使うための準備（電源を入れるまで）

本機は起動時に、接続されているディスプレイの EDID を自動登録します。このため、必ず下記の順序で電源を投入してください。

① RPM-400FHD に接続する機器の電源を OFF にしてください。

② 図１（☛ 9 ページ）のように各機器を接続します。

③ アナログ RGB ディスプレイの電源を ON にします。

④ RPM-400FHD の電源を ON にします。

⑤ 接続した PC の電源を ON にします。

本製品に接続されている PC から映像が出力されるか、または、PC との USB 接続が確立すると、そのチャンネルのオンライン LED が点灯します。下図は CH１ と CH２ に接続された PC が起動しているときの表示例です。

RPM-400FHD は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合、BIOS 画面表示中は USB 接続が確立しません。

RPM-400FHD の基本的な操作方法

本製品の各機能は、本体前面の操作ボタン、または、ホットキーコマンド（☛ 17 ページ）によって操作することができます。

別売の操作ユニット（MOU-3）や外部通信端子で制御することもできます（詳細については当社営業部までお問い合わせください）。

■チャンネル選択

チャンネル選択ボタンを押すと、表示／操作対象となる PC が切り替わります。中央の LED ランプが点灯しているものは、そのチャンネルが現在選択されていることを表します。下図は CH１ が選択されているときの表示例です。

- マルチ表示中も同じように操作対象チャンネルを選択することができます。
- ホットキーコマンド 1 、 2 、 3 、 4 （☛ 17 ページ）で同じことができます。
- 各チャンネルを直接選択する以外に、ホットキーコマンド Ctrl (右) 、 Ctrl (左) （☛ 17 ページ）で、隣り合うチャンネルに順次切り替えることもできます。

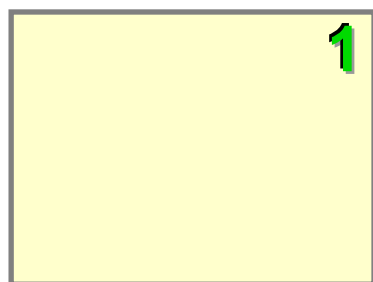
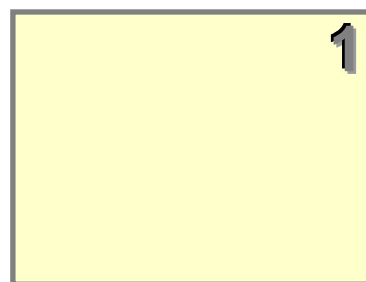
▫ チャンネル選択ボタンを 2 秒以上押し続けると、そのチャンネルの入力映像の位置調整機能が働きます（☛ 12 ページ）。

■マルチ表示

マルチ表示ボタンを押すと、ボタン中央の LED ランプが点灯し、CH 1 ～ CH 4 の映像が 1 つのディスプレイ画面に分割表示されます。もう 1 度マルチ表示ボタンを押すと、ボタン中央の LED ランプが消灯し、選択中チャンネルの映像だけが表示されます。

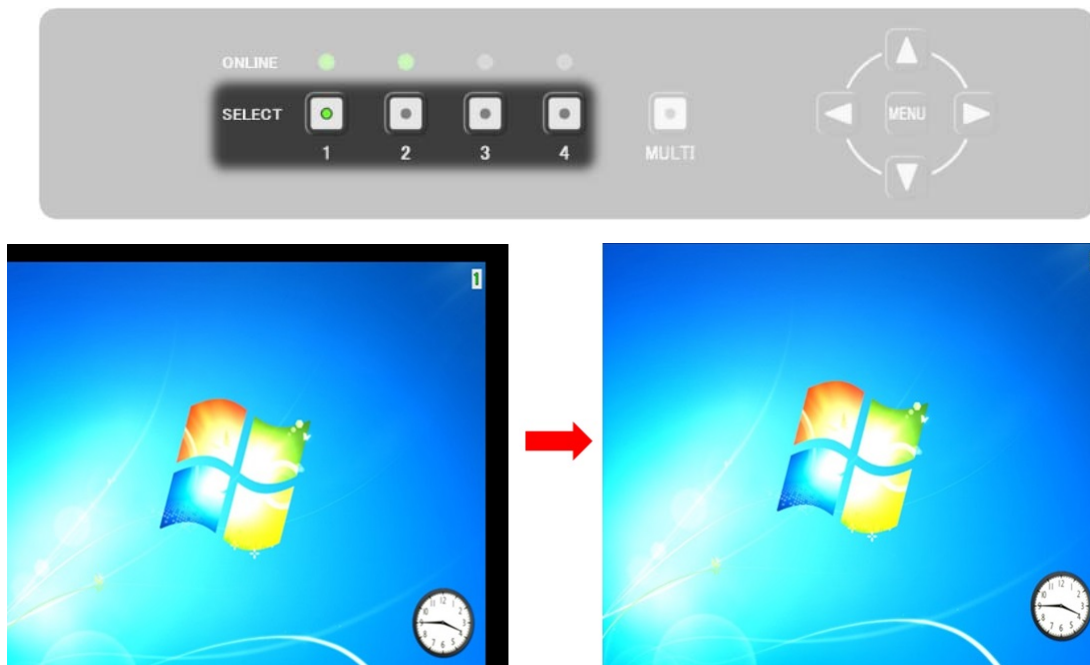
▫ マルチ表示中でも操作対象チャンネルを選択することができます（☛ 10 ページ）。
▫ マルチ表示には複数のレイアウトがあります（☛ 14 ページ）。マルチ表示を ON にしたときに表示するレイアウトの種類は OSD メニューで設定することができます（☛ 20 ページ）。
▫ ホットキーコマンド F1、 F2、 F3、 F4、 F5 （☛ 17 ページ）で、表示レイアウトを直接選択することができます。
▫ ディスプレイに出力する解像度については「出力解像度の切り替え」（☛ 12 ページ）を参照してください。
▫ 本製品には 28 ページに掲載されている入力解像度を自動判定する機能があります。本製品が対応していない映像入力がある場合は、右図のメッセージが表示されます。

■チャンネル番号

各画面枠の端にはチャンネル番号を表示することができます。チャンネル番号の色によって、選択状態を識別することができます。

選択中のチャンネル
チャンネル番号が緑色で表示されます。

選択されていないチャンネル
チャンネル番号が灰色で表示されます。

▫ OSD メニューで、切り替え動作時にチャンネル番号を一定時間表示するように設定されていれば、チャンネル番号を表示 OFF にしていても、チャンネルや表示レイアウトを切り替えたときに、チャンネル番号が一定期間表示されます（☛ 20 ページ）。
▫ ホットキーコマンド F7 （☛ 17 ページ）で、チャンネル番号の表示 ON／OFF を交互に切り替えることができます。
▫ OSD メニューで、チャンネル番号の色（☛ 20 ページ）や表示内容（☛ 23 ページ）を設定することもできます。

■映像位置自動調整

入力映像の表示位置がずれているときは、チャンネル選択ボタンを2秒以上押し続けることで、そのチャンネルに入力されている解像度の映像に対する表示位置を自動で調整します。
※映像位置調整は、ご使用される全チャンネルを必ず行ってください。

選択画面が黒または暗い画像の場合には正しく位置調整を行うことができません。
位置調整中に解像度の変更やスクリーンセーバーを ON にしないでください。

- ▫ 調整結果は、同じ解像度に対する位置調整を再度行うまで解像度毎に記憶されます。
- ▫ ホットキーコマンド F8 （☛ 17 ページ）で同じことができます。
- ▫ OSD メニューでも同じことができます（☛ 25 ページ、☛ 22 ページ）。

■キーボードとマウスの操作ロック

ホットキーコマンド F9 （☛ 17 ページ）で、キーボード／マウスによる PC 操作の禁止／許可状態が交互に切り替わります。操作禁止状態のときでもホットキーコマンドは有効です。

- ▫ ロック中にキーボード／マウス操作を行うと右図のメッセージが表示されます。
  この表示は一定期間が経過すると自動的に消えます。

※別売の操作ユニット（MOU-3）を併用すると、キーボード／マウス操作だけでなく、チャンネル切り替えや表示レイアウトの切り替え操作を禁止することもできます（詳細については当社営業部までお問い合わせください）。

■出力解像度の切り替え

OSD メニューが表示されていない状態で、本体前面 ◀ ボタンを押したまま、▲ ／ ▼ ボタンを押すと、ディスプレイに出力する解像度（☛ 28 ページの RGB 出力解像度欄）を切り替えることができます。

- ◀ ボタンを押しながら ▼ ボタンを押すごとに出力する解像度(1920×1200→1920×1080→・・・・・・→1280×1024→1024×768)が順々に下がります。
- ◀ ボタンを押しながら ▲ ボタンを押すごとに出力する解像度(1024×768→1280×1024→・・・・・・→1920×1080→1920×1200)が順々に上がります。

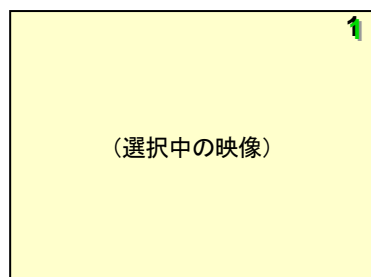
■OSD メニュー

本体前面のメニュー操作用ボタンで、各種の設定や調整を行うことができます（☛ 18 ページ）。

映像表示レイアウトの種類

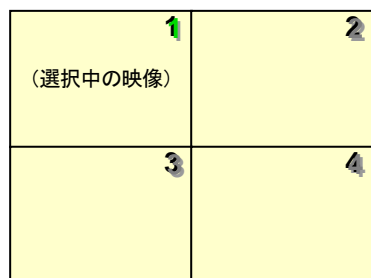
本製品では、以下に示す映像表示レイアウトのいずれかを選択することができます。

入力映像の解像度と出力解像度の組み合わせによっては、各枠に余白が生じることがあるため、実際の表示イメージが掲載図とは異なる場合があります。

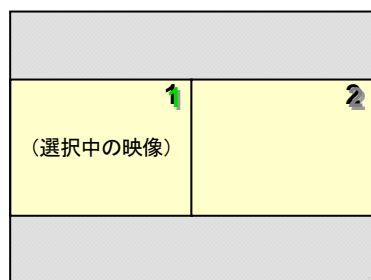
■ シングルレイアウト

選択されたチャンネルの入力映像がそのまま表示されます。

- ホットキーコマンドは F1 です（☛ 17 ページ）。
- 入力映像が無いチャンネルを選択すると、下図のメッセージが表示されます。

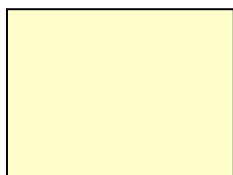
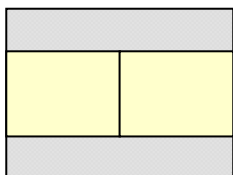
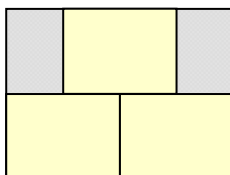
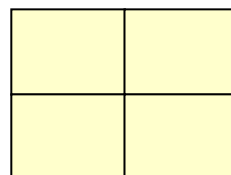
入力信号が
ありません

■均等分割レイアウト

チャンネル 1〜4 の映像が同じ大きさの枠で表示されます。

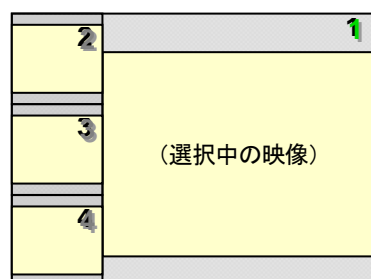
- ホットキーコマンドは F2 です（☛ 17 ページ）。

■自動分割レイアウト

入力映像があるチャンネルだけが自動的に分割表示されます（入力数が変わると分割数も自動的に変わります）。

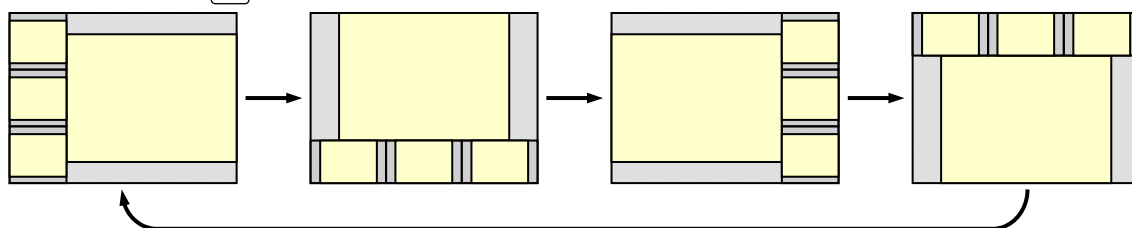
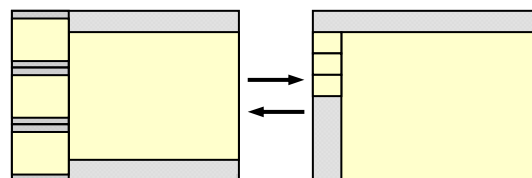
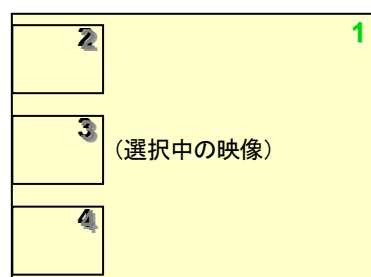
- ホットキーコマンドは F3 です（☛ 17 ページ）。

入力数に応じて、下図のように自動分割されます。

入力数：1

入力数：2

入力数：3

入力数：4

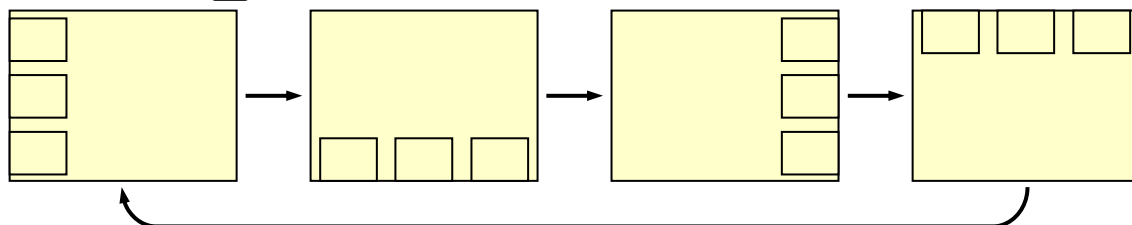
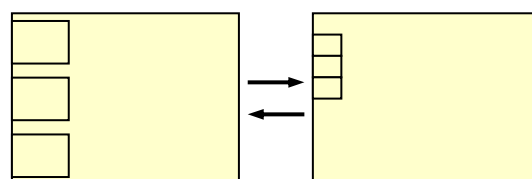
ホットキーコマンド Ctrl (右)、 Ctrl (左) （☛ 17ページ）での昇順／降順のチャンネル切り替えのときは、表示されていないチャンネルはスキップされます。

■大小分割レイアウト

選択しているチャンネルの映像が大きい枠に表示され、それ以外のチャンネルの映像は小さい枠に表示されます。

- ホットキーコマンドは F4 です（☛ 17 ページ）。

ホットキーコマンド F4 を連続で実行すると、小さい枠の配置が下図のように切り替わります。

ホットキーコマンド F6 で、大きい枠と小さい枠のサイズの比率を右図のように交互に切り替えることができます。

■ピクチャ・イン・ピクチャレイアウト（P in P）

選択しているチャンネルの映像に、それ以外のチャンネルの映像が小さく重ねられて表示されます。

- ホットキーコマンドは F5 です（☛ 17 ページ）。
- 選択中チャンネルの映像は、それ以外のチャンネルの映像よりも更新頻度が高くなります。

ホットキーコマンド F5 を連続で実行すると、小さい枠の配置が下図のように切り替わります。

ホットキーコマンド F6 で、大きい枠と小さい枠のサイズの比率を右図のように交互に切り替えることができます。

■カスタムレイアウト（オプション機能）

別売の操作ユニット（MOU-3）を併用すると、入力の有無にかかわらず、表示するチャンネルを任意に設定することができます（詳細については当社営業部までお問い合わせください）。

ホットキーコマンド

本製品の CONSOLE に接続されている USB キーボードから連続で所定のキーを入力することにより、各種機能を操作することができます。

キーの表記について

本書では、各キーの主な刻印のみを表記しています。したがって、実際のキートップに印字されている文字とは異なる場合があります。例えば 1 は 1ぬ のことです。

表1　ホットキー操作一覧

第１キー	第２キー	第３キー	機能説明	関連ページ
Ctrl	Ctrl	1 ～ 4	チャンネル 1～4 を選択	☛ 10 ページ
Ctrl	Ctrl	Ctrl (右)	チャンネル昇順切り替え（1→2→3→4→1…）＊1	☛ 10 ページ
Ctrl	Ctrl	Ctrl (左)	チャンネル降順切り替え（4→3→2→1→4…）＊1	☛ 10 ページ
Ctrl	Ctrl	F1	シングルレイアウト	☛ 14 ページ
Ctrl	Ctrl	F2	均等分割レイアウト	☛ 14 ページ
Ctrl	Ctrl	F3	自動分割レイアウト＊1	☛ 14 ページ
Ctrl	Ctrl	F4	大小分割レイアウト＊2	☛ 15 ページ
Ctrl	Ctrl	F5	ピクチャ・イン・ピクチャレイアウト（P in P）＊2	☛ 15 ページ
Ctrl	Ctrl	F6	大小枠の比率を変更（大小分割、P in P のとき）	☛ 15 ページ
Ctrl	Ctrl	F7	チャンネル番号の表示 ON／OFF	☛ 11 ページ
Ctrl	Ctrl	F8	選択中チャンネルの映像位置自動調整	☛ 12 ページ
Ctrl	Ctrl	F9	キーボードとマウスの操作ロック	☛ 12 ページ

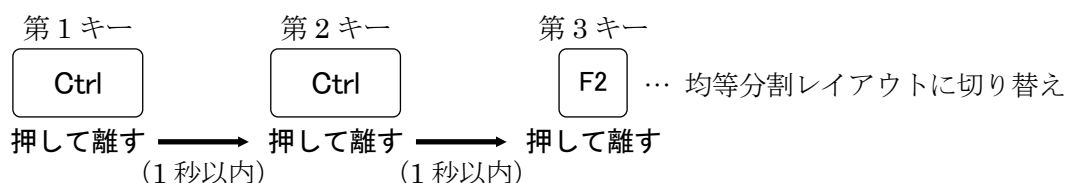
＊1　自動分割レイアウトのときに、昇順／降順のチャンネル切り替えを行った場合は、表示されていないチャンネルはスキップされます（☛ 14 ページ）。

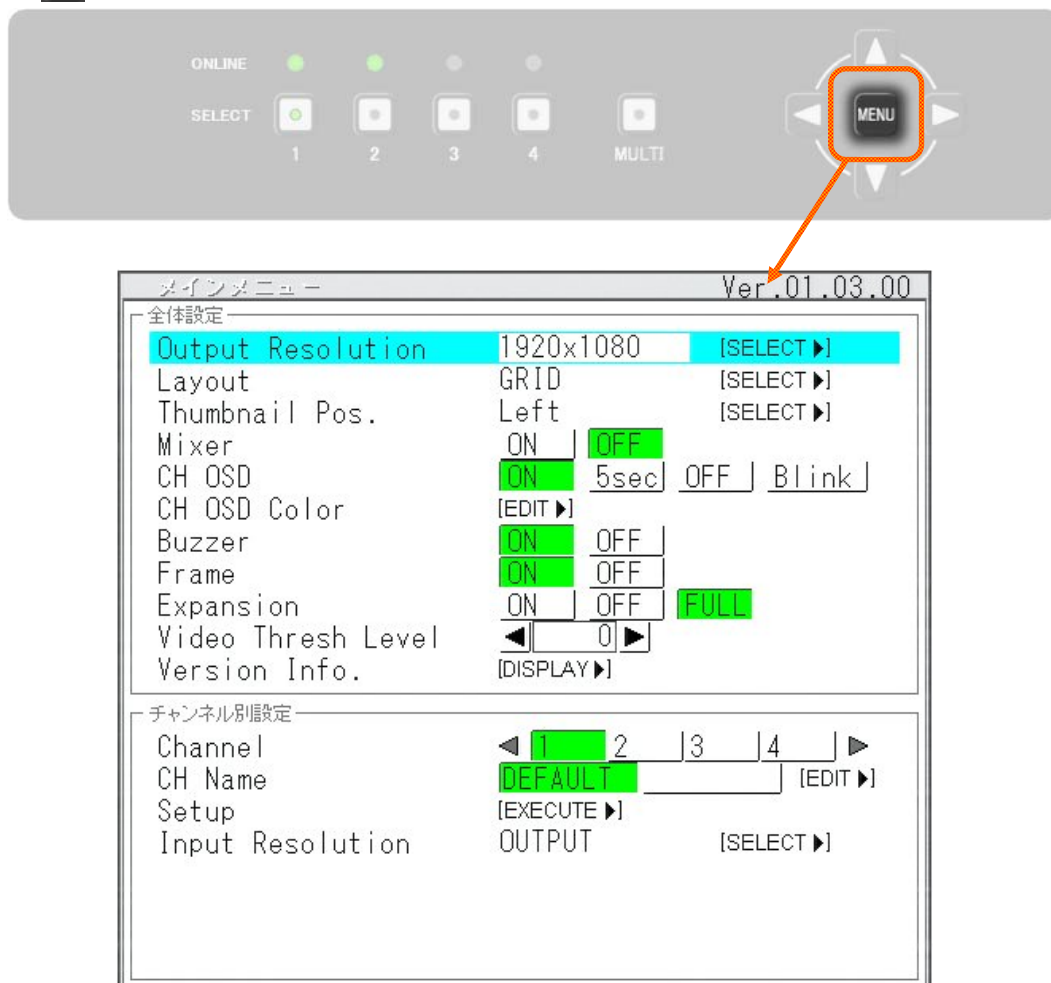
＊2　F4 または F5 のホットキーコマンドを連続で実行すると、小さい枠の配置が「左側⇒下側⇒右側⇒上側」の順に切り替わります。

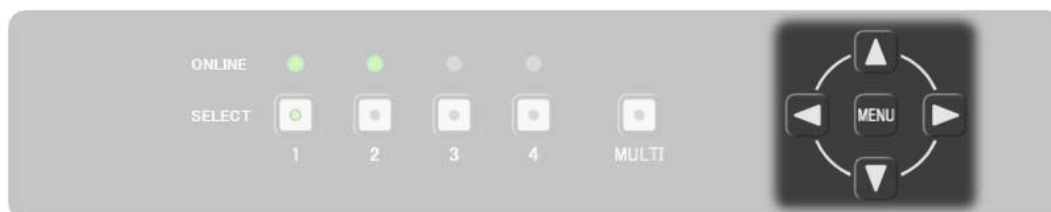
ホットキーの入力方法

所定のキーを連続入力することでホットキーコマンドが実行されます。

・第 1 キー、第 2 キー、第 3 キーは別々に入力してください（同時押しは無効です）。
・第 1 キーと第 2 キーは同一の Ctrl キーを入力してください。
・各キーの入力間隔は 1 秒以内としてください。
・他のキーやマウスボタンが押されている状態の場合、ホットキーコマンドは実行されません。

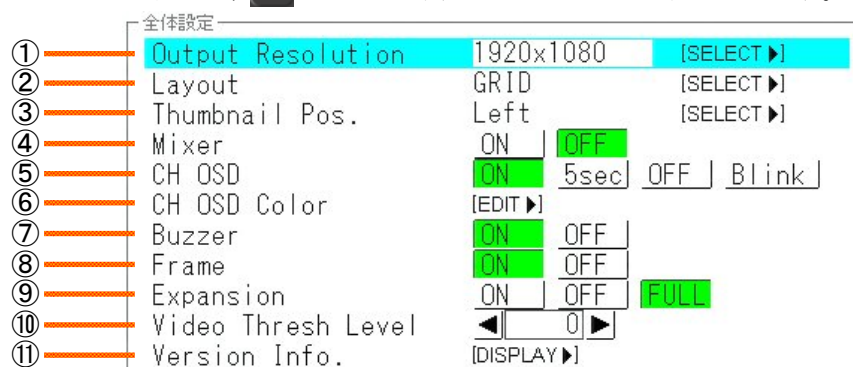
● **ホットキー操作例（均等分割レイアウトに切り替える場合）**

OSD メニューの操作

本体前面の MENU ボタンを押すと OSD メニューが表示されます。

メニューの外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

▲／▼ボタンで OSD メニュー項目を選択します。各項目の値は◀／▶ボタンで変更することができます。

※メインメニューが表示されている状態で MENU ボタンを押すと設定内容が確定し、メニューが閉じます。

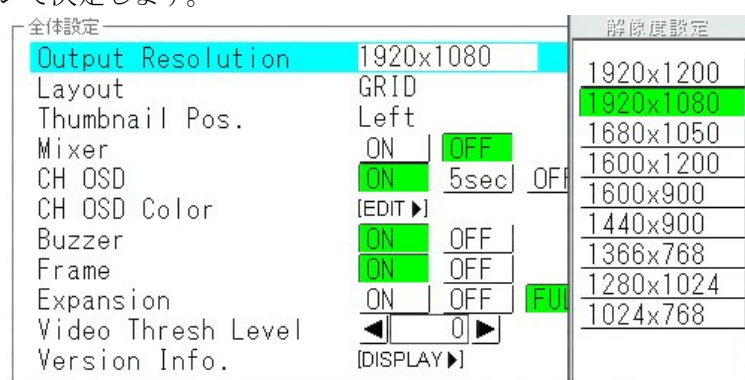
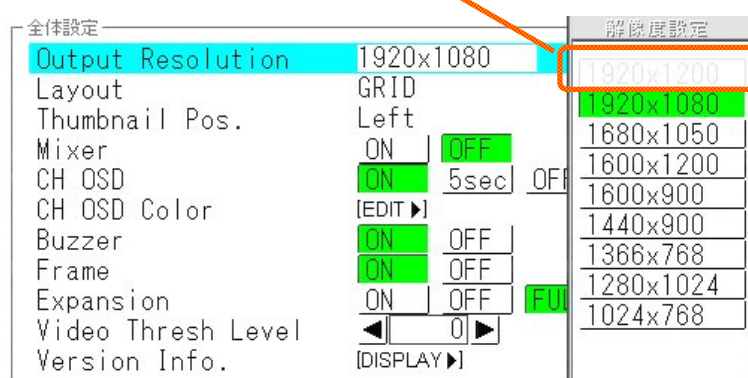
■全体設定枠（メインメニュー）

本製品の全体的な動作に関連する設定を行います。

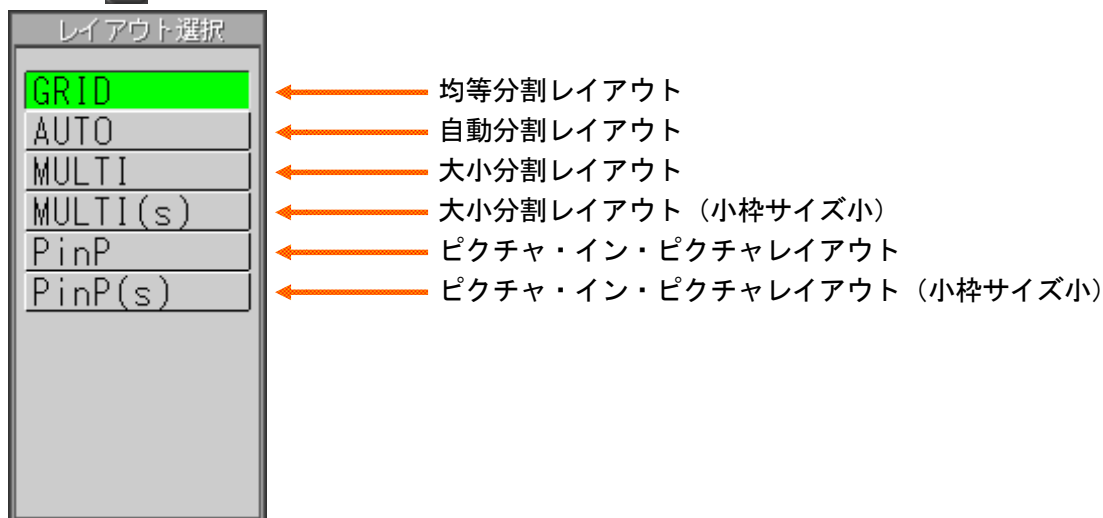
※「▶」マークが付いた項目は、▶ ボタンを押すとサブメニューが表示されます。

メニューの外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

① 出力解像度選択（Output Resolution）

アナログ RGB ディスプレイに出力する映像の解像度を選択します。

- ▶ ボタンを押すと、選択できる出力解像度選択の一覧が表示されます。▲／▼ ボタンで選択してから MENU ボタンで決定します。

※接続されたモニタの出力に対応していない解像度は選択することができません。

② マルチ表示レイアウト選択（Layout）

マルチ表示ボタンを押したときに表示されるレイアウトの種類（☛ 14 ページ）を選択します。

- ▶ ボタンを押すと、選択できるレイアウトの一覧が表示されます（下図）。▲／▼ ボタンで選択してから MENU ボタンで決定します。

③ 小さい枠の配置選択（Thumbnail Pos.）

「大小分割レイアウト」（☛ 15 ページ）、「ピクチャ・イン・ピクチャレイアウト（P in P）」（☛ 15 ページ）のときに表示される小さい枠の配置を選択します。

- ▶ ボタンを押すと、小さい枠の配置位置の一覧が表示されます。▲／▼ ボタンで選択してから MENU ボタンで決定します。

④ 音声ミックス機能（Sound Mixer）

入力音声をミックスして出力する機能の ON/OFF を選択します。

- ON　　最大 4 系統の入力音声信号をミックスして出力
- OFF　　選択中チャンネルの音声だけを出力

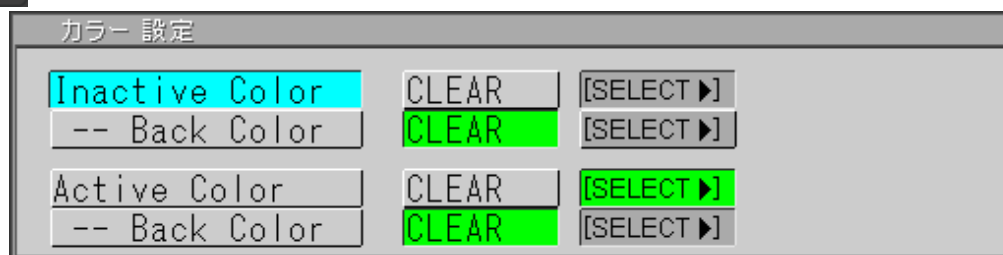
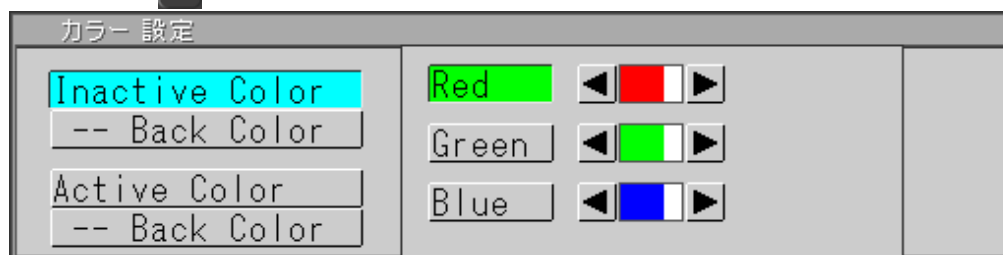
⑤ チャンネル番号表示モード選択（CH OSD）

チャンネル番号の表示状態を選択します。

- ON　　常に表示
- 5sec　　切り替え操作後 5 秒間表示
- OFF　　常に非表示
- Blink　　常に点滅表示

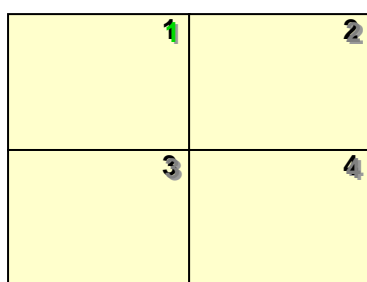
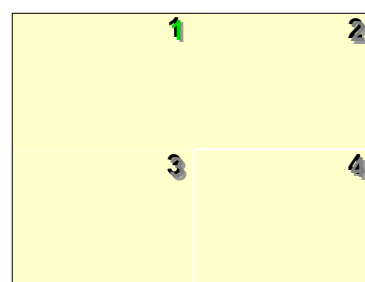
⑥ チャンネル番号色設定（CH OSD Color）

チャンネル番号の表示色を設定します。

- ▶ ボタンを押すと、色を設定する箇所を選択するためのサブメニューが表示されます（下図）。MENU ボタンを押すと設定内容が確定し、サブメニューが閉じます。

▫ 変更したい色を▲／▼ボタンで選択してから▶ボタンを押すと、色を調合するための枠が表示されます（下図）。MENU ボタンを押すと設定内容が確定し、色調合枠が閉じます。

⑦ 操作ブザー音 ON／OFF（Buzzer）

▫ 本体前面のボタンやホットキーで操作をしたときのブザー音の ON/OFF を選択します。
別売の操作ユニット（MOU-3）のブザー音のON/OFF状態も連動します。

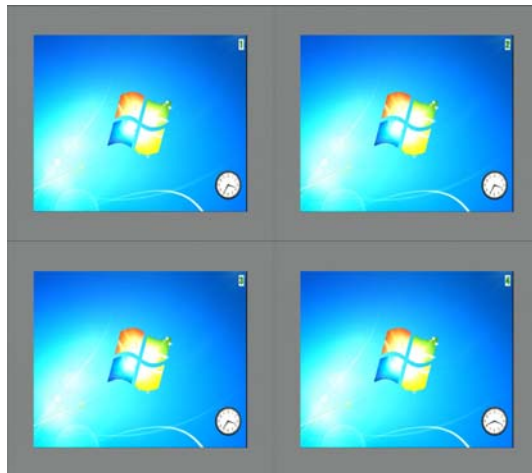
⑧ 映像枠線表示 ON／OFF（Frame）

マルチレイアウトのときの各映像に枠線を表示する機能の ON/OFF を選択します。

ON　　　OFF

⑨ 拡大表示機能 ON／OFF／FULL（Expansion）

映像を拡大表示する機能の ON/OFF/FULL を選択します。

▫ ON　　入力映像のアスペクト比を維持したままで各表示枠いっぱいに拡大して表示

▫ OFF　　入力解像度が表示領域よりも小さい場合は拡大せず 1:1 で表示

▫ FULL　　入力映像のアスペクト比を無視して、縦横の表示枠いっぱいに拡大して表示

⑩ 映像位置自動調整の閾値設置（Video Thresh Level）

入力映像の自動位置合わせ機能（☛ 25 ページ）を実行する際の、映像の輝度レベルを指定します。暗い映像を入力しているときは閾値を下げ、画面領域の外側にノイズが乗っている場合などの要因で正しく位置合わせができないときには上げます。

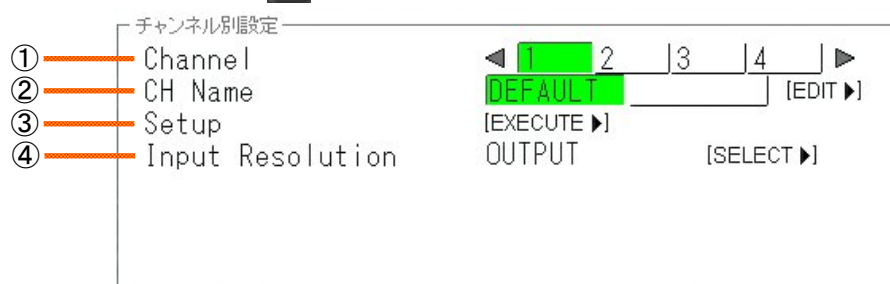
▫ ◀／▶ ボタンで値を変更することができます。
※ボタンを押し続けると値が 3 段階（0～2）に変化します。

⑪ バージョン情報確認（Version Info.）

本製品に組み込まれているソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。

▫ ▶ ボタンを押すと、ソフトウェアのバージョン情報一覧が表示されます。MENU ボタンを押すと、もとのメニューに戻ります。

■チャンネル別設定枠（メインメニュー）

各チャンネルごとに設定を行います。
※「▶」マークが付いた項目は、▶ボタンを押すとサブメニューが表示されます。

メニューの外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

① 設定対象チャンネルの選択（Channel）

設定を行うチャンネルを◀／▶ボタンで選択します。本枠内の項目は選択したチャンネルに適用されます。

② チャンネル番号表示内容設定（CH Name）

チャンネル番号として表示する内容をテキスト文字列に変更することができます。

- ▶ボタンを押すと、文字列を指定するための枠が表示されます。上下左右キーで文字を選択し、MENUボタンで入力します。「ＥＮＤ」を選択してMENUボタンを押したときに設定内容が確定され、文字列編集枠を閉じます。

※テキスト文字列は、英数文字と記号を最大8文字まで指定できます。

- 「DEFAULT」を選択すると表示内容が数字１文字のチャンネル番号になります。

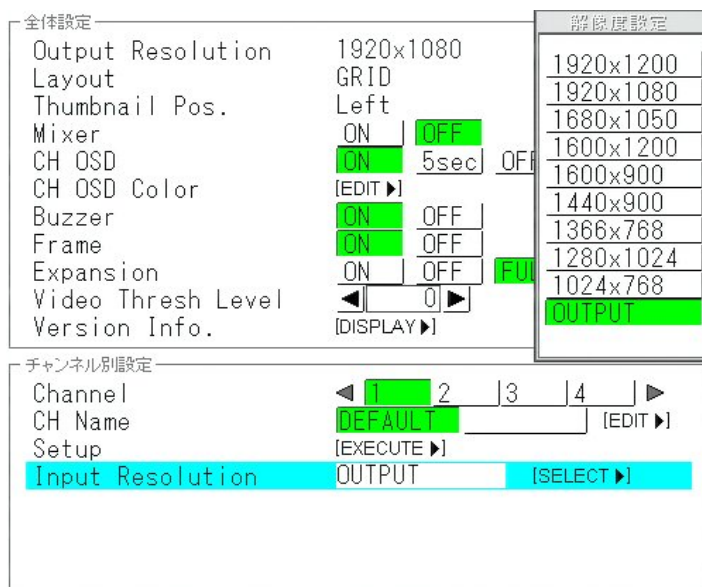
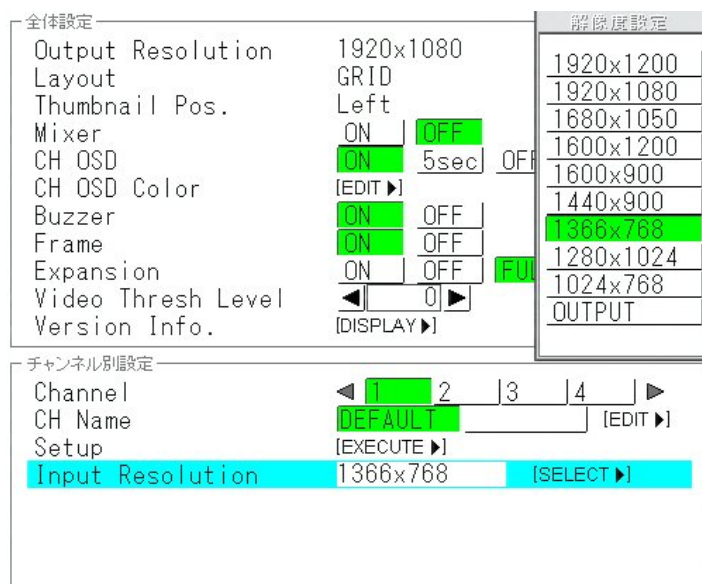
③ 映像調整を行う（Setup）

入力映像の調整を行います。

- ▶ボタンを押すと、入力映像の調整を行うためのサブメニューが表示されます（☛ 25 ページ）。MENUボタンを押すとサブメニューが閉じます。

④ 入力解像度選択（Input Resolution）

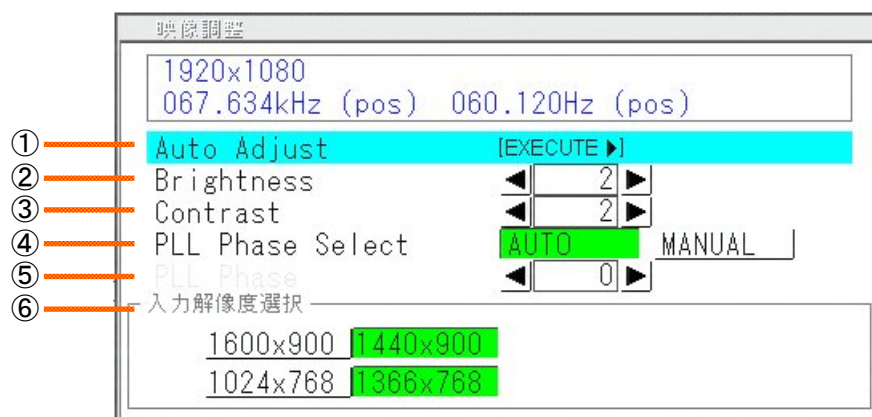
RPM-400FHD の RGB IN に接続した映像機器に通知する解像度を選択することができます。入力解像度の指定は、各 CH 単位で行う事が必要です。

- ▶ ボタンを押すと、選択できる解像度の一覧が表示されます。▲／▼ ボタンで選択してから MENU ボタンで決定します。
- OUTPUTを選択するとOutput Resolutionで指定した解像度と同じになります。下図の場合、Output Resolutionが1920×1080に指定されていますのでInput Resolutionは1920×1080になります。

- OUTPUT以外の解像度を選択するとチャンネル別入力解像度を選択された解像度に固定します。

- OUTPUTを選択した場合:RPM－400FHDに接続したモニタが表示できる最大解像度が1280×1024ならば、出力解像度の設定が最大1280×1024になります。出力解像度の設定が1280×1024に変わった場合、映像入力機器(PC等)に通知する最適解像度は1280×1024になります。
- 解像度を、例えば1366×768を選択した場合:RPM－400FHDに接続したモニタが表示できる最大解像度が1920×1080であっても、映像入力機器(PC等)には、最適解像度が1366×768ですと通知します。

■映像調整サブメニュー

チャンネル別設定枠(メインメニュー)で設定対象になっているチャンネルの入力映像の調整を行います。

※映像調整サブメニューの上部には現在の入力映像信号の情報が表示されます（下図は一例です。実際の入力映像信号に応じた表示内容になります)。

※ MENU ボタンを押すと設定内容が確定し、サブメニューが閉じます（メインメニューに戻ります)。

メニューの外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

① 映像位置自動調整（Auto Adjust）

入力映像の表示位置を自動調整することができます。

- ▶ ボタンを押すと、自動位置合わせ機能が実行されます。

  位置合わせがうまくいかない場合は、位置合わせ用の輝度レベルを適宜指定して下さい（☛ 22ページ）。

② 輝度調整（Brightness）

入力映像の明るさを調整します。

- ◀／▶ ボタンで値を変更することができます。

  ボタンを押し続けると値が連続で変化します。

③ コントラスト調整（Contrast）

入力映像のコントラストを調整します。

- ◀／▶ ボタンで値を変更することができます。

  ボタンを押し続けると値が連続で変化します。

④ クロックフェーズ自動／手動切り替え（PLL Phase Select）

入力映像を取り込む際の基準点を自動的に決めるか、手動で決めるかを選択します。

- 「MANUAL」を選択すると次項⑤の PLL Phase で設定した値が有効になります。

⑤ クロックフェーズ調整（PLL Phase）

入力映像を取り込む際の基準点を微調整します。

- ◀／▶ ボタンで値を変更することができます。
- 映像を目視しながら、ご使用環境において最も映像が見やすくなる値を選択してください。

  ボタンを押し続けると値が連続で変化します。

  この項目の値は上記④のPLL Phase Selectで「MANUAL」を選択したときに有効になります。

⑥　入力解像度選択

　本機には 28 ページに掲載されている入力解像度を自動判定する機能があります。ただし、次のいずれかを入力する場合は、ご使用の解像度を「入力解像度選択」枠で選択してください。

1600×900　1440×900 のいずれか

1024×768　1366×768 のいずれか

仕様

最大接続 PC 数	4 台		
対応パソコン	VGA コネクタ（高密度 Dsub15pin）が装備されていること USB コネクタが装備されていること（USB1.1 準拠、HID1.11 対応）＊1 ステレオミニジャックが装備されていること（接続省略可）		
対応 USB ハブ	付属品		
対応キーボード	USB キーボード（USB1.1/2.0 の Low/Full speed、HID1.10/1.11 準拠品） ※専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフトウェアには対応していません。		
対応マウス	USB マウス（USB1.1/2.0 の Low/Full speed、HID1.10/1.11 準拠品） ※専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフトウェアには対応していません。		
対応ディスプレイ	VGA コネクタ（高密度 Dsub15pin）が装備されているマルチスキャンモニタ ※EDID 対応（ただし、Extension Block には対応していません）。		
RGB 入力	入力信号レベル	0.7Vp-p（75Ω負荷）	
	対応解像度	（次ページに記載）	
RGB 出力＊2	出力信号レベル	入力レベルと同じ	
	出力解像度	（次ページに記載）	
映像更新速度	最大 60 フレーム毎秒		
インターフェース（パソコン側）	RGB 入力	Dsub15pin	メス×4
	USB コネクタ	USB TypeB	×4
	LINE 入力	ステレオミニジャック	φ3.5×4
インターフェース（コンソール側）	RGB 出力	Dsub15pin	メス×1
	USB コネクタ	USB TypeA	×1
	LINE 出力	ステレオミニジャック	φ3.5×1
その他	外部制御 RS-232C	Dsub9pin	オス×1
操作方式	本体操作スイッチ／ホットキー／操作ユニット（別売）／通信コマンド		
外形寸法	幅 370mm×奥行き 220mm×高さ 57mm（突起物及びゴム足を含まない）		
重量	2.6kg 以下		
電源	AC100V（50/60 Hz）　※付属の AC 電源ケーブル使用のこと		
消費電力	30W 以下		
環境条件	温度 －5℃ ～ 50℃　湿度 20％ ～ 85％（結露なきこと）		
付属品	AC 電源ケーブル、USB ハブ、RGB 中継コネクタ、 ホットキー操作早見カード、取扱説明書（本書）、保証書（本書裏表紙）		

＊1　RPM-400FHD は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合は、本製品に接続した USB キーボードで BIOS 画面を操作することはできません。

＊2　本体電源が OFF の場合、出力画像は表示されません。

外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

入出力解像度

RGB 入力解像度	640× 480（VGA）	60Hz
	800× 600（SVGA）	60Hz
	1024× 768（XGA）＊1	60Hz
	1280× 720（HD）	60Hz
	1280×1024（SXGA）	60Hz
	1366× 768（FWXGA）＊1	60Hz
	1440× 900（WXGA+）＊2	60Hz
	1600× 900（HD+）＊2	60Hz
	1600×1200（UXGA）	60Hz
	1680×1050（WSXGA+）	60Hz
	1920×1080（Full HD）	60Hz
	1920×1200（WUXGA）	60Hz CVT
RGB 出力解像度	1024× 768（XGA）	60Hz
	1280×1024（SXGA）	60Hz
	1366× 768（FWXGA）	60Hz
	1440× 900（WXGA+）	60Hz
	1600×1200（UXGA）	60Hz
	1680×1050（WSXGA+）	60Hz
	1920×1080（Full HD）	60Hz
	1920×1200（WUXGA）	60Hz CVT

＊1　設定によって、1024×768 と 1366×768 のいずれか 1 つだけが有効になります（☛ 26 ページ）。
＊2　設定によって、1440×900 と 1600×900 のいずれか 1 つだけが有効になります（☛ 26 ページ）。

オプション製品

- RGB ケーブル
- USB ケーブル
- 操作ユニット：MOU-3
- RS-232C ケーブル

製品保証

- 本製品の保証期間はお買上げより１年間有効です。
- 保証規定については保証書に記載してあります。
- 保証書は、大切に保管してください。お問い合わせ時に必要な場合があります。
- 保証期間を経過した製品の保守、修理などは有償とさせて頂きます。

お問い合わせ

●製品のご購入や製品に関するご質問は下記までお問合わせください。

製品および各種見積お問合せ営業時間
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
１０：００～１７：４５

●メールでお問い合わせいただく場合

貴社名、部署名、ご氏名、ご質問内容をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、メールでご回答申し上げます。

製品販売に関するお問合せ	sales@round.ne.jp
製品技術に関するお問合せ	tech@round.ne.jp
上記以外に関するお問合せ	round@round.ne.jp

●お電話でお問い合わせいただく場合

弊社　営業部
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

ＴＥＬ：0774-33-5282(代)

●ＦＡＸでお問い合わせいただく場合

必要事項をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、ご回答申し上げます。

ＦＡＸ：0774-33-5297

カスタマイズ

外部通信による制御など、カスタマイズについては上記営業部へお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="4">保　　証　　書</th></tr>
<tr><td>製品名</td><td colspan="3">マルチ画面表示対応パソコン(KVM)切替器</td></tr>
<tr><td>型番</td><td>RPM-400FHD</td><td>製造番号</td><td>※ １３０５ＺＨ＿＿＿</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保証期間</td><td>お買い上げ日から１年間有効</td><td>ご購入日</td><td>年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご購入日が証明できるものを添付してください。添付がない場合は当社出荷日を保証期間の基準とさせて頂きます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売店様</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ご連絡先</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td>お名前（会社名）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>ご連絡先</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※印の製造番号は本体裏面（リアパネル）に９桁の英数字で記載されています。

修理品送付先
株式会社ラウンド 製品修理センター　宛 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄芝東 3-9 TEL：0774-33-5282

保証条項

1. 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合には製品と保証書を添付して、㈱ラウンド製品修理センターへご送付ください。
   ご送付時の送料はご負担ください。
2. 保証期間内でも以下のような場合は有料修理となります。
   ・使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ・火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等お取扱いが不適当なため、生じた故障及び損傷。
   ・㈱ラウンド製品修理センター以外で不当な改造、修理、調整、部品交換などをされた場合。
   ・消耗品の交換。
   ・保証書の紛失等により、ご購入日をご提示いただけなかった場合。
3. 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきまして、当社はその責に任じません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ROUND 株式会社ラウンド

〒611-001　京都府宇治市五ヶ庄芝東３－９

電話　０７７４－３３－５２８２
FAX　０７７４－３３－５２９７

メール　round@round.ne.jp
HP　http://www.round.ne.jp/

2015 / 6